

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- [30235] 遊離L鎖 κ/λ 比(FLC)

受託開始日

- 平成23年10月17日(月)

遊離L鎖 κ/λ 比(フリーライトチェーン:FLC)

多発性骨髄腫(MM)は、形質細胞のがんであり、モノクローナルな形質細胞の増殖が認められます。このため他の骨髄由来細胞の産生が抑制され、貧血などを発症します。また、多量に分泌される免疫グロブリンにより、腎機能低下やALアミロイドーシスなどの発生を助長します。

一般的に、MMの検査としてMタンパク同定やベンスジョーンズタンパクの検査が用いられておりますが、測定感度が低いという問題があります。

遊離L鎖 κ/λ 比はネフェロメトリー法により、血清中の遊離 κ 鎖及び λ 鎖を各々測定し、計算により κ/λ 比を算出します。

MMのようなモノクローナルな形質細胞増殖の場合、遊離 κ 鎖もしくは λ 鎖どちらか一方が増加するため、 κ/λ 鎖比が大きく変化します。これに対して感染症や自己免疫などの場合、 κ/λ 鎖比はほとんど変化せず基準値内におさまります。

本検査は従来の検査法と比べ、極めて感度が高く、MM治療におけるより精度の高い寛解(完全寛解)の判断基準として推奨されています。

このように本検査はMMの診断補助及びモニタリングに有用な検査となります。

検査要項

項目コード	30235
検査項目名	遊離L鎖 κ/λ 比(FLC)
検体及び保存法	血清 0.4mL (冷蔵)
検査方法	ネフェロメトリー法
基準値	κ 鎖: 2.42~18.92 mg/L λ 鎖: 4.44~26.18 mg/L κ/λ 比: 0.248~1.804
所要日数	3~7日
検査実施料	400点(「D014」自己抗体検査)
判断料	144点(免疫学的検査判断料)
定価	5,500円
備考	「D014」自己抗体検査「21」のIgG4に準じて算定する。

参考文献

- 稲垣淳, 他: Trends in Hematological Malignancies 2(3): 148~50, 2010.
伊藤早織, 他: 医学と薬学 64(1): 111~7, 2010.
清水一之, Lab. Clin. Pract. 25(2): 89~96, 2007.